

保育目標 『生き生きとあそぶ子』 ①健康な子ども ②仲間と一緒に育つ子ども ③創造力豊かな子ども

項目	重点項目	達成目標・具体的施策	年度末評価
学びの場である保育の充実	「愛情」を基盤とした 自尊感情の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児、幼児共に写真を使った子どもの姿についての話し合いを月2回以上行う。 ・年2回、一人一人を大切にされた保育についての視点で話し合う機会を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートで「自尊感情を育むような受容的・応答的な関わりが行われているか」について肯定的な回答が90%以上となっている。 ・一人一人を大切にされた保育についての視点では話し合いができなかったが、乳児、幼児共に月2回以上の話し合いを行った。子どもの姿を語り合うなかで、一人一人の気持ちを大切に、興味や内面の動きを読み取るように心掛け、受容的・応答的な関わりに繋げられるようにした。
	資質・能力を育む 保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を定めた話し合いを、月1回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートで「保育所では、子どもの姿について保育指針を意識した話し合いが行われているか」について肯定的な回答が80%となっている。 ・子どもの姿を写真で読み取る話し合いを月1回以上行った。読み取る際に、保育指針を基に「資質・能力の3つの柱」「10の姿」など視点を意識して話し合いをすることで、ポイントを絞った意見交換ができ、子ども理解を深める機会となった。引き続き行っていく。
	ちがいを認め 合える 仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が人権意識を高められるように、年1回の研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートにおいて、「子ども一人一人の個性を大切に受け止め、一人一人に応じた丁寧な保育が行われているか」について、肯定的な回答が80%以上となっている。 ・職員全体で人権研修に参加し、日頃の子どもとの関わりについて振り返る機会となった。職員一人一人の人権意識を高め、子どもとの関わりの中で気付いたことを職員間で伝え合えるよう、今後も取り組んでいく。
保育者の資質向上	職員研修・園内研修 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いた、園内研修を年1回行う。 ・写真での子どもの姿の読み取りを乳児・幼児共に月3回以上行う。 ・月1回園内の環境構成について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いた園内研修で、子どもの姿を深く読み取ることの大切さや、読み取った写真を用いてのドキュメンテーション作りについて学びあうことができた。 ・他施設や園外の研修等で学んだ資料や写真を回覧し、職員間で共有できるようにした。 ・子どもの姿の読み取りや写真の会を、乳児・幼児共に月3回以上行い、子ども理解を深めた。 ・乳児は月1回室内環境についての話し合いを行い見直しを行った。また、園庭の環境について共通理解するための話し合いや環境づくりを行った。定期的に話し合う機会が持てるように計画的に取り組みたい。

	<p>チーム保育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に議題を伝え、意見を持って会議に参加できるようにする。 ・職員アンケートの中で「チームの一員として自分の思いが大事にされていると感じる」と回答した人の割合が75%以上になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に話し合う議題について確認をし、意見を持ち寄って会議に参加できるようにした。 ・職員アンケートで「チームの一員として自分の思いをつたえることができているか」について肯定的な回答が57%であった。クラス間では伝えあうことができているが、全体の場になると伝えられずにいる職員がいると読み取れた。クラスの枠を越え連携できるよう、話し合いや会議の持ち方を工夫したい。 ・「多様な職種の職員で、チーム保育を進められているか」について肯定的な回答が77%となっている。子どもの育ちを多職種で支えていけるよう、さらに職員間の連携をとれるようにしたい。
	<p>小学校教育との接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参観可能な行事について案内をする。 ・学校の参観に可能であれば年1回以上参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との就学前の引継ぎとして、園での学びや子どもの様子を伝えること、保育要録の作成などはできた。また、幼小接続の研修に参加し、円滑な接続について理解を深めた。 ・参観への参加や園行事についての案内などはできなかったので、情報共有できるような取り組みを考えたい。